



編集発行

公益財団法人 不老会

〒460-0008

名古屋市中区栄

2丁目10-19

名古屋商工会議所内

9:00~17:00 土日祝休

電話・FAX

(052)203-4580

ホームページ

http://furo-kai.or.jp

北村理事長特別講演

星城大学 解剖学実習特別講義

九月十七日

名鉄「新日鉄前」を下車。海拔五十mの如來山の薄暗い急な坂をかなり登ると、頂上に至る。そこに大学がある。

四階の大教室に理学療法専攻・作業療法専攻一年生の学生百名、及びリハビリテーション学科の教授数名が待機する。

職員の鈴木さんの司会で大川教授の理事長の紹介後、北村理事長の特別講演が始まる。

理事長の講演は不老会の歴史と医学貢献で概略は次のようである。

理事長自身の闘病生活からはじまり、解剖の種類から説明し学生に次のように訴えた。

私たちが亡くなってから、皆さ



講演する北村理事長

ん方に役立ててもらおうことにまずはありがとうございますと礼を言いたい。その上で解剖を提供するまでに至る様々な思いを先ずは考察していただきたい。献体を目の前にしてどんな気持ちで亡くなり、遺族はどのような気持ちで提供したのかをよく考えていただきたい。

銭かねでなく遺体の提供というより、一教材として捧げているので一つひとつの臓器などをしっかりと見ていただきたい。

教材の写真と実際はかなり違う時があるので、どんな小さなことも見逃すことなくしっかりと観察して今後の医学の発展に役立てていただきたい。

などを主に学生に話し、不老会の歴史では初代理事長の実行力に触れながら、今の問題点にふれた。

昔は罪人だとか、行き倒れの人が解剖されなかったが、今のようになつたのは初代理事長の偉大な功績である。自ら献体登録するだけでなく普通の市民すなわち親、親族、親戚をボランティアとして登録するようにしたのがすごいことである。

現在一番頭を悩ませているのは、本人が献体するとの意思にもかかわらず、遺族が献体をしないこともあるのが課題である。

などなど約一時間講演があり、学生は熱心に聴いていた。

講演後学生の島君から感謝の言葉、学生の飯田さん、リハビリテー



熱心に耳を傾ける学生たち

ション学院の石田事務長から寄付金目録贈呈、久保教授から謝辞があり終了した。

終了後一部学生に感想を聞く
以下学生の感想

「これからどのような気持ちでご遺体に向きあつたらよいのかわかり参考になりました。」

「こんなにも沢山の方々に支えられ感謝している。勉強をよりしっかりとしないといけないと実感しました」

「ご遺体の尊い意思を受け継ぎしっかりと勉強しなければ」などなどであった。

医学のおはなし

日ごとに秋の気配が深まって感じられるこの頃ですが、同時にインフルエンザが流行する季節になりました。特にこの数年新型インフルエンザが話題になっていきます。そこで今回は従来の季節性インフルエンザと新型インフルエンザの違いや、インフルエンザの予防法に関して話をさせていただきます。

新型インフルエンザと

その予防法について

藤田保健衛生大学医学部 解剖学Ⅰ

教授 秦 龍 二

(1) 季節性インフルエンザと新型インフルエンザとの違い

通常の季節性インフルエンザは、その名の通り毎年冬季に流行しますが、新型インフルエンザの世界的流行は、数十年(30〜40年)に一度くらい(20世紀には3回起こっています)の頻度で発生し、季節は冬とは限りません。最近の新型インフルエンザとは、A型、H1N1亜型という種類の型のインフルエンザウイルスの二〇〇九年における世界的な流行のことです。二〇〇九年四月にメキシコでの流行が認知された後、二〇〇九年六

月十二日、世界保健機関(WHO)は、世界的流行病(パンデミック)であることを宣言し、警戒水準をフェーズ6(最高水準)に引き上げました。季節性インフルエンザウイルスに対しては、生まれてから一度もインフルエンザにかかったことの無い人を除いて、ほとんどの人がこれまでに曝露を受けており、季節性インフルエンザウイルスに対する抵抗力をもっていま

す。従って、感染し症状が出たとしても、発熱は数日続くものの、多くの場合には何事も無く回復します。しかし、新型インフルエンザウイルスが出現し、流行した場合、そのウイルスには世界中の誰もがこれまで遭遇したことがないため、新型インフルエンザウイルスに対する抵抗力をもっていません。そのために、世界中で莫大な数の病人の発生と、それに伴って

重症者や死亡者の増加もみられることが予想されます。更に医療機関に大量の病人が殺到することにより、医療システムそのものが破綻することが起こります。幸い今回流行した新型インフルエンザは感染死亡率は高くなく、致死率は季節性インフルエンザ並みかそれ以下であったため大事にはいっていません。しかしながら、新型インフルエンザの流行はいつ

より、せきの飛沫は95〜99%減少する。患者全員が真剣にマスクを着用し外出を控えると、感染患者総数は40〜75%に減少、効果はワクチン千六百万人分に匹敵する。」「感染者の半数以上は自覚症状がないので、少し具合が悪いとか家族に患者がいる人がマスクをする」と感染拡大を防げる。」と述べられています。可能な時に予防接種を受けると、頻回に十分に手洗いをして口や鼻を触らない(感染者の手に付着したウイルスがボタン・ドアノブ・手すり・つり革などに付着し、他者がそれらに触れてそのまま手で口や鼻を触ると、感染する可能性が高くなります)。うがいをする。症状のある人に近づかない。部屋を換気し、温度・湿度を高め

にも起こりうるため、十分な対策が必要になります。

(2) インフルエンザの予防法

インフルエンザウイルスはせきの飛沫(せきに含まれる唾)と共に飛び出します。従って症状が出た人はマスクを着用し、外出を自粛し、他人にせきやくしゃみをかけないことが最も重要です。実際、専門家の意見として、「マスクに

冬になると寒くなり乾燥するため、インフルエンザだけでなく通常の風邪ウイルスも流行しやすくなります。インフルエンザ予防法は通常の風邪ウイルス対策にもなりますので、不老会の会員とご家族の皆様におかれましても、上記予防法(特にマスクと手洗い)を励行し、ご自愛頂ければ幸いです。

公益財団法人不老会 名古屋市立大学会員のつどいのご案内

平成二十五年度の名古屋市立大学会員のつどいを左記のとおり開催いたしますので、市立大学に登録されている会員の皆様におかれましては、多数ご出席くださいますようお願い申し上げます。

日 時 十二月三日(火) 午前十一時より
会 場 名古屋市立大学厚生会館東棟二階会議室

記
ご出席くださる方は、ハガキに「会員のつどい出席」と明記し、会員番号、住所、氏名をご記入の上、十一月二十二日(金)までに左記にお送り下さい。
本案内をもって通知に代えさせていただきます。
なお、当日午後二時より「さくら講堂」において、名古屋市立大学解剖感謝式が執り行われますことを併せてご案内申し上げます。

公益財団法人 不老会 会員各位

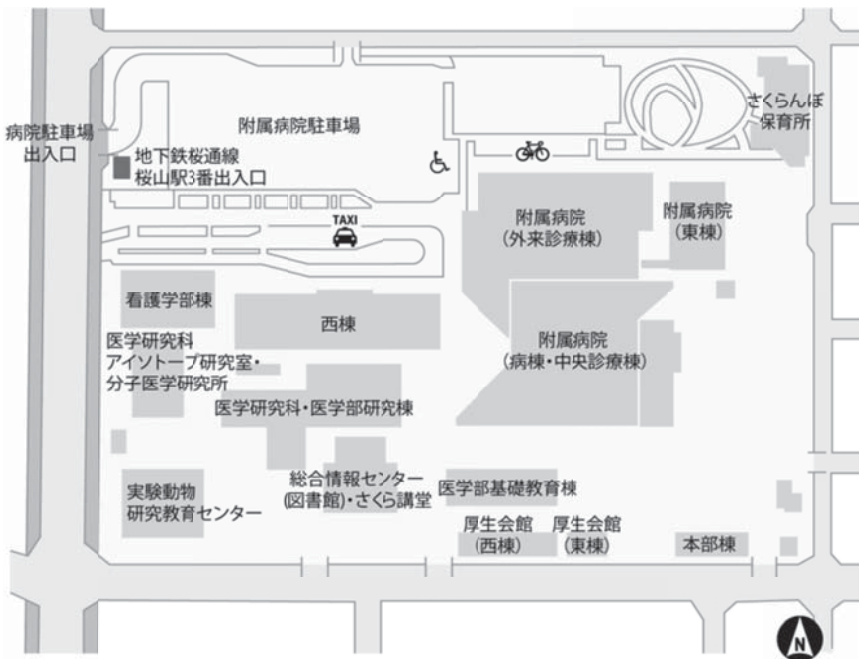
名古屋市立大学医学部長

浅井 清文
公益財団法人不老会名古屋市立大学担当理事
大森 鶴正

送付先

〒四六七―八六〇―一
名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄一
名古屋市立大学医学研究科
機能解剖学分野気付
(財) 不老会名古屋市立大学部会

電話 (〇五二) 八五三一八二二一



濱島辰雄元理事長ご逝去



十月十五日(水) 午後四時四十八分、不老会第二代理事長である濱島辰雄氏が亡くなりました。享年九十七歳。葬儀は同月十八日午前十一時より豊明市のティア豊明にて大勢の参列者を迎え執り行われた(喪主・三男 十志雄氏)。

参列者から沢山の「ありがとう」の言葉と、沢山の花が御遺体に手向けられた。閉式後、御遺体は藤田保健衛生大学へと向かった。



献体の塔清掃奉仕作業の
ご案内

一、担当 尾張ブロック

(瀬戸・尾張旭、日進愛知、豊明市、大府東浦、東海市、知多市、常滑市、阿久比、半田市、知多南部、愛知西部、一宮市、西春日井岩倉、尾北、小牧市、春日井市)

二、日 時 十二月十日(火) 午前十時三十分より

三、集合場所 名古屋市平和公園 献体の塔前広場

○服装は、帽子、長袖、タオル、飲物などを用意しご参加ください。

○参加者は全て勤労奉仕とします。



平和公園まつり

九月二十七日、雲一つない秋晴れの下、恒例の平和公園まつりが行われた。



不老会からは、橋口常務理事、土屋事務長が出席し、献体の塔の前で、十七名の僧侶による読経の後、献花を行ない、成願者のご冥福を祈念しました。

又、この日中日写真協会主催の撮影会も行われ、大勢のアマチュアカメラマンで賑わい、三人のフォトメイツの女性が華をそえた。

(取材・飛田、高村)

ありがとう

不老会成願者から角膜提供により光を取り戻した方々から礼状が事務局に届きました。

桑名市 久保田 様
桑名市 服部 様
蒲郡市 福井 様
関市 古川 様
津島市 渡邊 様
北名古屋市 渡辺 様

<不老カレンダー>

月 日	曜	行催事名および内容
11月9日	土	愛知医科大学 会員の集い
11月12日	火	尾北地区 秋の集い
11月19日	火	常務理事会
11月20日	水	美濃ブロック連絡会
12月3日	火	名古屋市立大学 会員の集い
〃	〃	名古屋市立大学 解剖感謝式
12月5日	木	第1回監査会
〃	〃	理事会
12月10日	火	献体の塔清掃
12月17日	火	常務理事会
〃	〃	評議員会

会員投稿

(五十音順)

短歌

○独り居は近づく秋の物寂し
夜の帷の早々と落つ
東海市 大久保たかを

○背広着てぐるりと廻りポーズ取る
はたち 二十の孫の晴れ姿
豊橋市 金澤もとゑ

俳句

○懲り懲りよ願いは一つ脱原発
一宮市 渥美 栄夫

○知己とあり暫し秋日のやはらかし
東区 大塚 方子

○天睨む休耕田の捨案山子
知多南部 川井 正彦

○妻孕寿昼寝の顔の物語
飯田市 林 梅翁

名古屋大学不老会員の集い

台風一過の翌十月十日(木)覚王山日泰寺普門閣で、名古屋大学実習生の出迎えを受け、九十六名の会員が集いました。関係者の挨拶のあと、三宅養三先生から「高齢者の眼疾患」と題して講演されました。はじめに愛知用水の建設に当たられた久野庄太郎先生と当時名古屋大学総長の勝沼先生との出会いによる不老会設立の経緯を説明されたあと、ご自身の名古屋大学時代からの長年の眼治療の臨床と研究や近年の最先端医療について映像を使って説明されました。終了後は実習生と会食をともしました。(取材・斉藤)



多数の参加者を前に講演する三宅先生

愛知学院大学不老会員の集い

去る十月十一日(金)愛知学院本部講堂にて、約五十名の会員が参加のもと講演会が開かれました。「高齢者が

快適な食生活を送るには」と題して、服部正巳歯学部教授から豊富なデータを基に、「しっかり噛む」ことの大切さや唾液内の老化防止ホルモン、脳中枢の刺激、行動の範囲などを強調されました。また「喫食」すなわち、おいしく、楽しく、やさしさの中、語らいつながりの食事を奨められました。(取材・斉藤)



講演する服部正巳教授

実に七年ぶり、皆さんお元気でしたか？

ここは西区稲生コミュニティセンター、会員二十五名が集まり十月十三日十四時より開催。白木光男西部地区代表の開会の辞で始まり、黙祷の後、代表の挨拶。

この会の目的は健康で長生きするためであり、名古屋ブロック集会では、会員の交流が出来ないので今回の集会をもつことの意義を話された。次に西区の現状、成願時の用意、角



挨拶する白木代表

膜の提供、登録病院などの話がされた。次に本部から来所の伊藤郁郎組織委員長から、公益財団法人の意義、一般の方に開かれた組織であり、会員には不老会に入会して良かったと思える団体にしたなどが話された。田澤彌太郎北地区代表からは一人住まいの方の献体について説明があり、次に質疑応答があり。

引き取りの手のない遺骨はどうするのか(大学側と相談) 献体後再会できるのか(出来ない) 等などの質問があり伊藤委員長が答弁した。

その後会員の余興があり、詩吟を竹内好美さん、マジックを杉本春男さん、ビンゴゲームがあり。なごやかのうち15時には散会した。

集会終了が白木光男代表にお聞きした問題点は 一、七年前には一六〇名近くいたが現

在は一八名と減少している。二、七年前は七〇名近く集まったが、今日は半数、特に問題なのは会合開催案内の返事がない人が四〇名近くおり、八名いる役員で、役員の近くにいる会員のみは訪問したいと考えているとのことでした。(取材 広報委員 葛西 榊原)

一宮地区 秋の研修会

地区代表 倉知 彰治

十月四日(金)好天候に恵まれ、楽しい一日が始まりました。毎年、一宮市の福祉バスはとても人気があり、中々抽選に当たりませんが、今回は一回で好運を掴みました。研修旅行先は、木之元地藏院・長浜「蜂須賀温泉研修」で不老会本部から、北村直哉理事長の特別講話を拝聴し、生きるパワーと不献体防止の術を学びました。

地区代表が 替わり、何かと心配もありましたが、幹事の方々、皆様方のご協力のお陰様で実りある成果をまとめる事ができました。



25年度不老会一宮地区 秋の研修集会 木之元地藏院・長浜(須賀)温泉研修H25.10.4

編集後記

ホームページの新設やカレンダーの作成に加えて、このほど出張取材も手掛けることになった。豪放磊落でユルキャラ・ダンディのリーダーのもと、間違いなく昔美女だった四人組と、最近新参のコスプレ超愛好オジンが加わって、老いをすっかり忘れた編集局です。(齊)

